

科目名	社会学				
担当講師名	山崎 剛信	所属・役職	岩手大学 非常勤講師	資格・免許	
授業形態	講義	単位数・時間数	1 単位 30 時間	開講年次	1 学年後期
講義の概要	<p>・看護師は現場で、医師、患者、家族、職場などとの間で、様々なジレンマや理想とのギャップに直面することになる。このとき、人間や社会に対して、深いものの見方ができ、反省的に自らの実践を振り返り、よりよい看護実践へと自らを高められるのが優秀な看護師ということになる。</p> <p>・「社会学」は看護という営みを広く、深く見通す目を養ってくれる学問の一つである。短い期間ではあるが、授業や、ホームワークを通して、人間や社会を見る目を養ってもらいたい。</p>				
到達目標	<p>・人間は社会的存在であることから、社会の機能と構造、社会が人間に与える影響を理解する</p> <p>・社会の中の個人、家族、地域の役割と関係性を理解する</p>				
講義回数	講義内容				
1～15	<p>授業の前半では、一般的な「社会学」の視点を学んでもらうことで「社会学」にふれ、社会的なものの方、考え方を勉強する。後半では、医療や福祉に焦点を絞り、「社会学から見た」医療、福祉について学んでいく。また、変わりつつある家族機能を理解して適切な家族支援について学んでいく。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会学とはどういう学問なのか</li> <li>2. 社会学の理論 <ul style="list-style-type: none"> <li>行為論</li> <li>相互作用論</li> <li>集団論</li> <li>社会構造について</li> <li>社会の変動について</li> </ul> </li> <li>3. 社会的に世の中をみる、考える <ul style="list-style-type: none"> <li>病院、学校、科学技術、恋愛、結婚、自殺、死生観、宗教、犯罪、労働など</li> </ul> </li> <li>4. 看護と社会学</li> <li>5. 健康、病いとは何か</li> <li>6. 患者経験を考える</li> <li>7. 現代社会における家族</li> </ol>				
教科書等	適宜、資料配布				
成績評価方法	レポート課題（50%）、試験（50%）により総合的に評価する。				
履修上の留意点					
特記事項	<p>大量の読書とレポート提出を課します。</p> <p>看護職を目指す人の教養科目として、人間とは何かを深く考えてもらう。</p>				